

金沢港の機能強化について

平成31年 2月15日

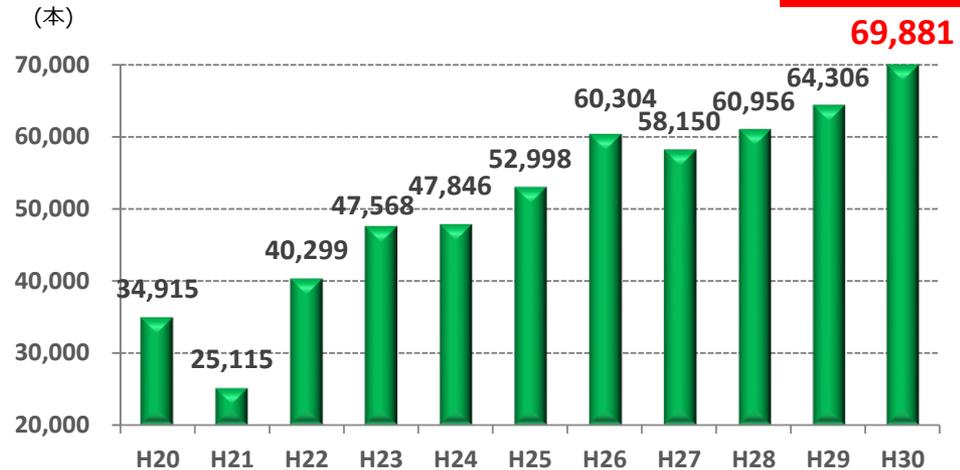
石川県

近年の金沢港の大きな変貌

●コンテナ貨物、国際定期航路数の増加

- ・県内企業の金沢港利用率
平成18年：26% ⇒ 平成25年：45%
- ・国際定期航路数 **週10便**
- ・コンテナ取扱量
H28：6万本、H29：6万4千本超
H30：6万9千本超
⇒ **3年連続で過去最高を更新**

コンテナ貨物の推移



平成19年のコマツの金沢工場立地を契機に、**貨物増→航路数増→貨物増**という好循環

●クルーズ船の増加

- ・クルーズ船寄港数
H30：47本 ⇒ **本州日本海側トップクラス**
うちラグジュアリー船：24本 ⇒ **過去最高**
大型クルーズ船：7本 ⇒ **過去最高**
日本海周遊クルーズ：11本
- ・寄港した船会社数
H24：4社 ⇒ H30：12社 (2倍以上)

クルーズ船の推移



世界的に有名な観光地（兼六園、ひがし茶屋街、白川郷、永平寺など）に近いことから、「北陸の玄関口」となっている地理的優位性に加え、新幹線開業が追い風となり寄港数が増加

金沢港 機能強化整備

- 1 金沢港クルーズターミナルの整備
- 2 アクセス道路、駐車場、緑地の整備、船だまりの埋立
- 3 無量寺・戸水に点在するコンテナ上屋の移転・集約

東京オリンピック・パラリンピックの開催
前年度（2019年度）の完成を目指す

